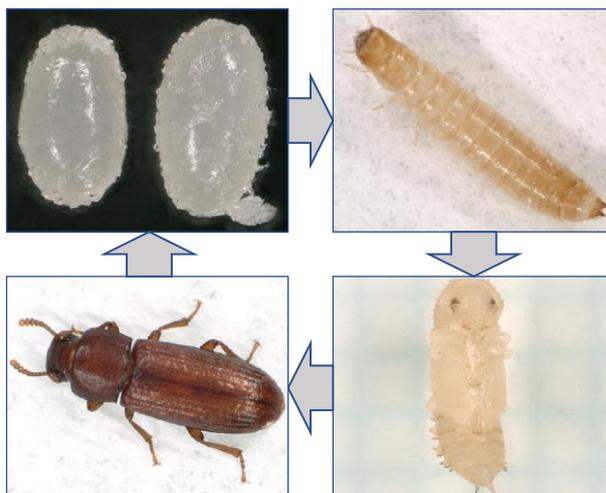


## ヒラタコクヌストモドキ

分類：コウチュウ目(鞘翅目)ゴミムシダマシ科

学名：*Tribolium confusum*

英名：Confused flour beetle



### ■解説<sup>3) 6)</sup>

本種は、外部形態がコクヌストモドキに類似するが、成虫は触角と複眼で分類を行うことができる。本種の触角は先端に向かって徐々に太くなっているのに対して、コクヌストモドキは触角先端3節が球状で太い。また、本種の複眼間の距離は、コクヌストモドキと比較して広い。複眼を背面から見た場合、本種はひさし状隆起を備えるが、コクヌストモドキはひさし状隆起が無い。

本種の食性範囲も類似しているが、完全な穀粒に対する加害能力や繁殖力はコクヌストモドキよりも高い。わが国では本種が主に製粉工場、コクヌストモドキが精米工場に分布しているといわれているが、両種ともに小麦粉を好み、その加工品で問題となることが多い。<sup>1)</sup>

なお、本種は飛翔能力を持たないが、コクヌストモドキは飛翔が可能である。

### ■体長

卵：0.57±0.05×0.32±0.02mm<sup>2)</sup>

幼虫：—

蛹：—

成虫：3～4mm 前後<sup>3)</sup>

### ■産卵数

産卵数/生涯：—

産卵数/1日：4.9±0.09 卵 (24℃)<sup>7)</sup>

12.7±0.15 卵 (29℃)<sup>7)</sup>

14.2±0.19 卵 (34℃)<sup>7)</sup>

### ■ライフサイクル

卵：4.9日(小麦ふすま 30℃ 70%R.H.)<sup>4),5)</sup>

幼虫：18.0日(小麦ふすま 30℃ 70%R.H.)<sup>4),5)</sup>

蛹：6.1日(小麦ふすま 30℃ 70%R.H.)<sup>4),5)</sup>

成虫：>300日<sup>6)</sup>

### ■発育零点(発育停止温度)<sup>8)</sup>

16.7℃(小麦ふすま 70%R.H.)

### 【参考文献】

- 1) 中北 宏. 環境管理技術 6(3). 1988, p.165
- 2) G.L.Lecato et al. Description of Eggs of Selected Species of Stored-Product Insects. Journal of the Kansas Entomological Society 47(3). 1974, p.308
- 3) 原田豊秋. 食糧害虫の生態と防除. 光琳. 1971, p.388
- 4) R.W.Howe. Ann. Appl. Biol., 44, 356. 1956
- 5) R.W.Howe. ibid., 48, 363. 1960
- 6) 安富和男・梅谷献二. 衛生害虫と衣食住の害虫. 全国農村教育協会. 1995, p.67
- 7) T.Park et al. Ecology, 29, 368. 1948
- 8) 井村治. 貯穀(貯蔵食品)害虫の飼育法(2) 飼育の実際. 家屋害虫 11(2). 1989, p.149